

算数科学習指導案

指導者

日 時 令和7年11月13日
学 年 第4学年 20名
單 元 名 小数

1. 単元について【ねらいと用いる既習、見方・考え方】

本単元は、小学校学習指導要領算数科第4学年A(4)「小数の仕組みとその計算」に位置付けられている。

これまでの学習をもとに、小数第二位、小数第三位の位について知り、小数が十進位取り記数法によって表されることの理解を深められるようにする。また、整数の場合と同様に数の相対的な大きさについて気付き、小数も整数と同様に位取り記数法に基づく数の表し方であることを統合的に理解できるようすることをねらいとする単元である。

2. 児童（生徒）について【問い合わせをもつ・自己調整の姿】

これまでの学習では、問題提示の工夫により、児童が課題を捉えやすくするようにしてきた。そのことにより、児童が何を考えるのかを明確につかみ、意欲的に学ぶことができるようになってきている。

また、新しい問題に出会った時に、問題を解いてみたいと意欲的に取り組もうとする児童が多い。これまでの学習では、既習事項を想起させたり、見方・考え方を意識させるような提示を行ったりしてきた。その結果、統合的に考え、見方・考え方を働かせ、学びに向かう児童も少しずつ見られるようになってきた。

3. 指導について【問い合わせをもつ・自己調整の姿を引き出すための手立て】

【問い合わせをもつ姿を引き出すために】

小数の仕組みは、これまで整数で学習してきた十進位取り記数法を拡張した考え方である。整数の範囲での十進数の仕組みが既習として生かされ、児童が自ら整数と同じ考え方だと発見できるような学習の流れを工夫することが大切と考える。指導に当たっては、身の回りにある小数を取り上げたり、自分の予想や現実、他者との考え方とのズレ等から児童に興味・関心をもたせたりしたい。また、意欲的に問題解決に迫ることができるように課題提示を工夫することを通して問い合わせを引き出していくたい。

【自らの学びを調整し、問題解決する姿を引き出すために】

課題解決の場面では、既習を生かし見通しを持たせる。その上で、操作活動や図や式で考え、学習活動の方法を選択するなど、主体的に学習活動を進めることで、小数も整数と同じように表すことができることや小数の大小比較、加減の計算ができるなどを発見できるように、児童の学びを支えていきたい。授業の中では、「本当にそうなのかな?」「どうしてそう考えたの?」といった問い合わせで児童の心が動かされ、自ら動きだそうとするきっかけをつくり、話し合いを通して考えが深まっていき、課題を自ら解決できる喜びを味わわせるようにしたい。また、自己の学習を振り返り、児童が課題解決に至るために大切な学習の方法や学び方を自覚し、次への学習の意欲につながるようにしたい。

目指す子どもの姿（目標）

単位（まとまり）・基準や数の性質、式や図などの表現に着目し、数や計算の意味を理解したり数量関係を捉えたりしている。
また、それらを用いて論理的に考えたり、統合的・発展的に考えたりしている。

小数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、成り立つ性質を見出したり計算の仕方を考えたりしている。

小数の相対的な大きさについて、整数の時と同じ考え方をもとに、比べている。

領域（本質）
単元
本時

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについて理解することができる。 ② 小数第三位までの数を表したり、小数の加法及び減法の計算をしたりできる。	① 小数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、整数の計算の仕方と関連付けて小数の計算の仕方を考えている。 ② 小数やその計算が日常生活にも使えることに気づいている。	① 小数の仕組みに関心を持ち、その計算のしかたについて振り返り、粘り強く考えようとしている。 ② 小数とその計算について学習したことと生活や学習に活用しようとしている。

主体的に学習に取り組む態度の具体

①問い合わせをもつ	やってみたい	<ul style="list-style-type: none"> ・かさのはしたの数も長さの時と同じように表してみたい。 ・小数を10倍、10分の1にするとどんな数になるのだろう。 ・小数も整数と同じように考えられるのかな。 ・小数で大きさを比べたい。
	なんで なんで?	<ul style="list-style-type: none"> ・1Lより少ないのにどうやってLで表すことができるのかな。 ・小数第一位より小さい位の表し方はほかにもあるかも。 ・小数第二位までの数と小数第三位までの数は桁がちがうから計算できそうにはないな。 ・小数でもたし算やひき算はできるのかな。
②自らの学びを調整していく	方法の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・位取り表を使って考えたい。 ・数直線の目盛りを使って考えたい。 ・0.1 0.01 0.001がいくつ分あるのかを使って考えてみよう。 ・位をそろえてみよう。
	見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・桁の数が違っても位をそろえることで小数も整数と同じように大きさを比べることができた。 ・小数の減法で繰り下がりがある時、整数の時と同じように上の位から繰り下げれば計算できた。

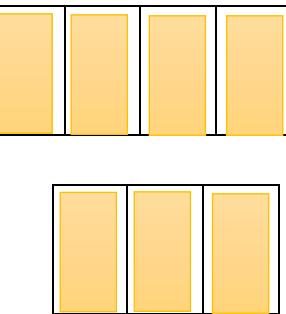
5. 単元計画（・は指導に生かす評価、○は記録に残す評価）

時間	学習活動	評価規準		
		(児童の行動・ノートを基にする評価)		
1	・はしたの量の表し方を考え、0.1Lを10等分した1つ分を0.01Lと表すことを知る。	・①		上記の態度を常に評価していく
2	・1cmが0.01mと表せるのを知る。	・①		
3	・0.01を10等分した1つ分を0.01Lと表すのを知る。	○②	・①	
4	・1, 0.1, 0.01, 0.001の関係を調べ、小数の位取りについてまとめる。	・②	・①	
5 本時	・小数の相対的な大きさについて、整数の時と同じ考え方をもとに比べ方を話し合う。	・①		

6	・10倍、10分の1の数のそれぞれの位について考える。	○①		上記の態度を常に評価していく
7	・問題場面から立式し、小数の加法の計算のしかたを考える。	○②	○①	
8	・問題場面から立式し、小数の減法の計算のしかたを考える。	○②	○①	
9	・小数でも加法の交換法則や結合法則が成り立つことを確かめる。	・①	・②	
10	・学びを生かし単元のまとめをする。	・②	○②	

6. 本時の学習について

目標：小数の相対的な大きさや位の位置について理解し、大小比較をすることができる。(知・技)

学習活動	◇指導上の留意事項 ◆評価規準（評価方法）
<p>1 問題と出会い 問いを持つ</p> <p>T「大きさ比べをするよ。どちらが大きいかな？」</p> <p>C「百の位から比べたらよかつたからかんたん！」</p> <p>AとB どちらが大きい数かな</p>  <p>A 「AとBの数 どちらが大きい？大きいのはAだと思う人、Bだと思う人。」</p> <p>C「4桁だからAの方が大きい。」</p> <p>T「本当に？1枚ずつ見てみよう。」(0. のところだけ見せる)</p> <p>C「あれ？ずるいよ 小数だ。」</p> <p>C「Aが絶対大きいと思っていたのに。」</p> <p>T「桁が大きいと数も大きいのでは？」</p> <p>C「わからなくなってきた その次を見たい！」</p> <p>T（付箋をめくってAの数0.078を見せる）</p> <p>C「大きい数はAではないかも・・・」「Bは？」</p> <p>T（付箋をめくってBの数0.43を見せる）</p> <p>C「え！どっちが大きいのかな。」</p>	<p>◇3 桁の整数の数を比べる。どこの位から見たいのかを問い合わせ、位の大きい数から比べることを想起させる。</p> <p>◇小数第二位 小数第三位までの数を付箋で隠し、児童の反応を見ながらAの大きい位から順に見せていく。</p> <p>◇桁も多く位の大きい方だけみれば大きい数と分かっているが、小数になると児童は数が小さく感じることが考えられる。そこから小数はどのように大小比較できるのか「なんで？」「比べてみたい」といった問い合わせを引き出す。</p> <p>◇児童のつぶやきを板書しておき、個人で考える時や振り返りの際に生かされるようにしておく。</p> <p>◇2つの数について数の大きさを比べる時にどんなことに困っているのか話し合わせることで解決方法を引き出す。「どうして大きいと言えるの？」と問い合わせながら児童に説明を考えさせる。</p>

<p>小数はどのように大きさを比べればよいのかな</p> <p>2 小数の大きさの比べ方を考える（1）</p> <p>T「みんなどうして困っているの？」</p> <p>T「Aが大きいと思う人の気持ちがわかる人、（挙手）Bが大きいと思う人の気持ちがわかる人。（挙手）」</p> <p>C「Aの数ほうが桁が多いからさっきの問題と同じで大きいと思った。」</p> <p>C「分からなければBだと思った。」</p> <p>C「だって、小数第三位までの数と小数第二位までの数が混ざっているから 比べられない・・・。」</p> <p>C「そろえることはできないのかな・・・。」</p> <p>T「どうやって？」</p> <p>C「0.43 小数に第三位の数があったとしたら・・・。」</p> <p>C「0.078は0.001が78こ。0.43は0.001が430こ。」</p> <p>T「どういうこと？」</p> <p>C「0.001がいくつ分かで考えると整数と同じように比べることができる。」</p> <p>C「だから、Bの0.43の方が大きい！」</p> <p>3 小数の大きさの比べ方を考える（2）</p> <p>T「0.1.2.3.4.の5つの数字カードから4枚引いて小数を作ります。大きいのはどちら？」</p> <p>（小数点の位置はそろえておく）</p> <p>(A) □.□□□ (B) □.□□□</p> <p>4 小数の比べ方を使って問題解決する</p> <p>次の数を大きい順に並べよう</p> <p>4.25 4.4 4.302 4.32 4.3</p> <p>T「大きい数からランクインをつけよう。」</p> <p>C「4.4が一番大きい。」</p> <p>C「次に来るのは・・・。」</p> <p>C「桁が多いから大きいではなかったよね？」</p> <p>C「位をそろえて考えたいな！」</p> <p>T「位をそろえたら何がいいの？」</p> <p>C「そろえたら0.01がいくつ分かが見えてくる。」</p>	<p>◇78や43といった数だけを見て大きさを比べるのではなく、位を1つ分と考え0.001が78こ、0.001が430ことみると、整数と同じように大きさを比べることができることに気づかせる。いくつかの小数の大きさ比べを通して、位をそろえるには小数点の位置が大切だということにも気づかせる。</p> <p>◇数カードの中から児童が4枚カードを引いてそれぞれ一番大きいと思う小数をつくる。はじめ数を裏返しにしておき、「どの位のカードから見たい？」「どうして？」と全体に問いかながら児童に理由を説明させる。</p> <p>◇問題に取り組ませる際にチャレンジカードも混ぜておく。自分に合った問題を選んだり解決方法を選んだりするなど方法を自己決定させ、学びに向かう姿を見取る。</p> <p>★小数の仕組みを理解し、大小比較をすることができる。(児童観察)</p>
---	---

C「整数と同じように考えて大きさを比べることができる。」 5 本時の学習を振り返る T「今日の授業でどんなことが大切でしたか。」「今日の学習を振り返ろう。」	◇考え方モンスターを板書に貼り見方・考え方の価値づけをする。また、「今日は」「今日も」「いつも」の視点で本時の学習で大切なことについて、板書を見ながらノートにまとめさせる。
--	--

本時で主に引き出したい「主体的に学習に取り組む態度」(可能性があるものに☆印)

主体的に学習に取り組む態度の具体		
① 問い合わせをもつ	やってみたい	<ul style="list-style-type: none"> かさのはしたの数も長さの時と同じように表してみたい。 小数を10倍、10分の1にするとどんな数になるのだろう。 <p>☆小数も整数と同じように考えられるのかな。 ☆小数で大きさは比べたい。</p>
	なんで なんで?	<ul style="list-style-type: none"> 1Lより少ないのでどうやってLで表すことができるの。 <p>☆小数第一位より小さい位の表し方はほかにもあるかも。 <ul style="list-style-type: none"> 小数第二位までの数と小数第三位までの数は桁が違うから計算できそうにないな。 小数でもたし算やひき算はできるのかな。 </p>
② 自らの学びを調整していく 問題解決していく	方法の選択	<p>☆位取り表を使って考えたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 数直線の目盛りを使って考えたい。 <p>☆0.1 0.01 0.001がいくつ分あるのかを使って考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 位をそろえてみよう。
	見方・考え方	<p>☆桁の数が違っても位をそろえることで小数も整数と同じように大きさを比べることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小数の減法で繰り下がりがある時、整数の時と同じように上の位から繰り下げれば計算ができた。